いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび

No.２１６
２０２５（令和７）年２月１０日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

教育委員リレーエッセイ

『　雪の降る町　』

今金町教育委員　　村瀬　一人



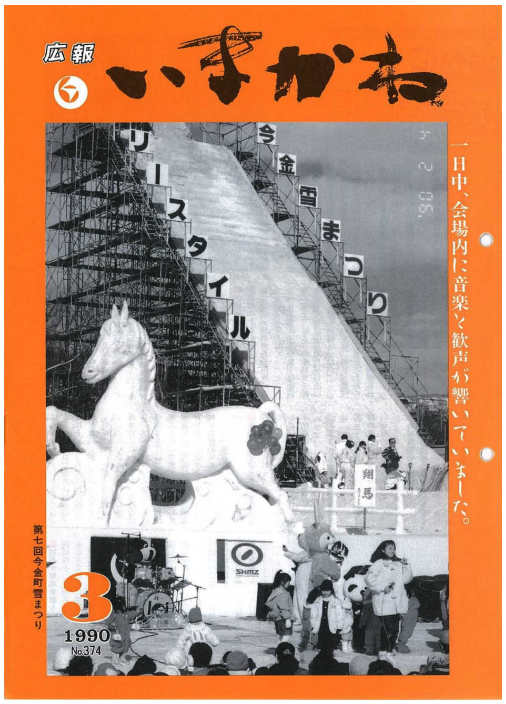
新しい年を迎え、早１ヶ月が過ぎました。月日が経つのは、早いものですね・・・

１月は気温も高く穏やかな天候が続き、過ごしやすい毎日でしたね。２月に入り、雪の降る日が多く除雪作業が忙しい毎日となっております。

雪と格闘している中、ふと私の記憶では２０年近く前に開催されていた、今金雪まつりが頭の中に思い浮かびました。

企業の方や有志の皆さんが制作された、クオリティ高すぎる大雪像やたくさんの雪像、ジャンプ台、雪の壁で覆われた迷路。スキーのフリースタイルや弾丸ボブスレー大会？などのイベント、ビニールハウスの中で食べた温かい汁物。関係者の皆さんは、大変な一大イベントだったと思いますが、たくさんの賑わい、笑顔・・・　楽しかったなあ。

コロナウィルスなどの感染症や人口減少など様々な課題のある現代の世の中。大きなイベントは少なくなってきましたが、今金町では子供から大人まで楽しめるイベントが工夫を凝らしながら、たくさん行われています。温かく、行動力あふれる町民のみなさんに感謝です。



先週は全国的にものすごい冬の天気でした。５日水曜日は檜山管内でも７町全部の義務校が臨時休業となりました。私はどちらかというと、まだ大丈夫なら頑張ろうという、なかなか休みの体制にしないスタンスの方なのですが、今回はさすがに、気温が下がりだした前日の昼過ぎには翌日の臨休の判断をしました。地吹雪の中の通学通勤をさせるのが心配な天気図、雲の流れでした。

みんな無事で良かったです。それだけです。

頑張れるときに頑張ればいい。何事も。

写真は「HP　広報いまかね　アーカイブより」